

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	みんなのまちづくり推進事業			720202	担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	中田 幸夫		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 企画費	決算附属資料	72	頁	
	施策の大綱	市民協働の推進			関連計画等	-		
	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	平成30年4月に施行される福知山市自治基本条例が掲げる市民主体のまちづくりと持続可能な住民自治を推進していくための体制を整備する。						
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.17		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	・平成28年度は、自治基本条例について市議会への説明を行い、制定を目指す。 ・平成29年度は、地域公民館単位で、自治基本条例の周知や市民協働をテーマとした講演会等の開催 ・平成30年度は、自治基本条例推進委員会を設置し、まちづくりへの市民参画の状況把握や自治基本条例が適切に運営されているかどうかを検証・検討する。また、住民自治検討会議を継続し、各地域の現状と課題を踏まえ、本市における地域組織のあり方や市の支援策等について検討する。 【住民自治検討事業を統合した形で、平成29年度新規事業として事業開始】						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
		報償費	まちづくり講座講師謝礼、住民自治検討会議委員謝礼				940	
需用費		色上質紙、OHCロール、マジックほか				355		
役務費		郵送料等				116		
旅費		講師との打合せ旅費、住民自治検討会議委員旅費				11		
使用料及び賃借料	施設使用料等				9			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	1,540	1,422	969	
		補正予算等・・・②		0	174	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	174	0		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	1,540	1,422	969	
		特定財源名称(H29実績)	地域振興基金繰入金		1,274	基金繰入金	36	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	1.48/0	1.48/0	/	
		概算人件費・・・④		0	11,840	11,840		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	13,554	13,262			
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,431				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	83.5%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	H31	
		地域協議会数	団体	3/3	3/3	/7	9	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		自治基本条例推進協議会	回	-	-	/1		
		単位あたりコスト		-	0.0			
		住民自治検討会議数	回		6/6	/6		
単位あたりコスト		-	238.5					

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	「市民協働によるまちづくり」の推進と、その規範となる条例の周知、実効性の担保は極めて重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	周知方法や実施の手法、内容等については検討の余地あり
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	他市事例の研究と外部有識者等の意見を踏まえ分析など
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民への自治基本条例の周知については、広報誌の特集記事や市民協働まちづくり講座の開催、リーフレット作成などにより、一定の理解を深めることができた。	
	今後の課題及び方向性	住民自治検討会議を継続し、本市における住民自治の仕組みについて、「地域づくり組織の体系」「中間支援組織の位置づけ」「行政の支援」等について一定の方向性を示していく。 自治基本条例の施行に伴い、自治基本条例推進委員会を立ち上げ、まちづくりへの市民参画の状況把握や自治基本条例が適切に運営されているかどうかを検証・検討していく。 今後も引き続き、市民への周知活動を継続していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p>所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の説明や周知が主眼になっており、目的化している。周知は本来手段であり、その先にあるつくり出したい姿(地域の姿)が見えない。 ・総事業費が1400千円以上かかっているが、主にまちづくり講座の企画にかかっている。庁内の仕組みを改革していくような戦略づくりと実践を ・ミッションは、住民と行政の距離を近づけ、圧倒的当事者意識を持ち、住民自治主導、行政補完の協働、社会を作ること(元の自治に戻す)→これを全職員と全住民の共通理解となるような事業を不断に考えることが大事 ・事業の目的(あるべき姿)が何であり、どういう状態を作り出していきたいのか、担当課だけでなく、関係部署はもとより全庁的な構えが求められてくるのではないかと。他自治体等での先進事例を参考に本市にあう仕組みを模索されてはどうか 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	この事業をより効果的な取り組みとするために、市職員の意識を変える取り組みを進める。「まちづくり」の事業はかちづくり推進課だけで負えるようなものではなく、市全体で進める事業という視点で進めていく。 例えば、事業評価シートに行政主導型事業か協働型の事業かの項目を設けるなど、新たに事業を捉える視点をつくる。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	未来の力祭典事業			720203	担当課	まちづくり推進課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	芦田 直也			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	94・96	頁		
	施策の大綱	市民協働の推進			関連計画等	-			
	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する			根拠法令等				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	○福知山市市制施行80周年及び福知山市市民憲章推進協議会設立25周年を記念し、市内高校生及び大学生並びに地域と連携を持ちながら記念事業を実施することで、次代を担う若者たちの可能性を引き出し、郷土愛を育むとともに市民協働によるまちづくりを活性化させる。							
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.15			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 福知山市市民憲章推進協議会							
	事業概要	○主体となって「未来の力祭典」に取り組む福知山市市民憲章推進協議会への交付金の交付。 ■御霊公園 ・舞台発表(7団体) ・肉カレーフェスティバル(8団体) ・展示発表(4団体) ■喜多郎記念コンサート							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		負担金補助及び交付金		交付金			9,200		
旅費					41				
関連事業	市民憲章推進事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①		0	9,243	0	0		
		補正予算等…②		0	0	0	0		
		繰越し等…③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	0	0	0		
		国支出金		0	4,621	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		0	4,622	0	0		
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金		4,600		国補助金	16 頁	
	地域振興基金繰入金		4,620		基金繰入金	36 頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0 / 0	0.30 / 0	0 / 0	/		
		概算人件費…④		0	2,400	0	0		
	総事業費(①+②+③+④)…⑤			0	11,643	0	0		
執行状況	執行額…⑥		0	9,241					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	100.0%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		未来の力祭典来場者数	団体等	/	3000 / 2000	/	2000		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		交付金交付団体	-	/	1/1	/			
		単位あたりコスト		0.0	9,241.0				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	まちづくりの理念である市民憲章の普及・啓発は重要であり、市民団体が主体となって実施する点においても適切かつ優先度の高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	市民憲章推進協議会も自己資金で事業を運営するなど妥当な水準である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	総会終了後、市に事業報告書を提出することで、適切に把握されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○高校生や大学生との連携を図るなど、普及・啓発を推進することができた。 ○LINEカードや市HP、市内各施設及びイベントでのチラシの配布など多様な手法による広報により、記念コンサートでは、1400人あまりの応募(700人定員)など多数の関心を集めることができた。	
	今後の課題及び方向性	○市民憲章推進協議会25周年事業としての開催であったが、今後の周年事業等について内容の検討が必要。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金の根拠は理解できたが、総事業費の約9割を市の補助金で賄っていることについては、市民へわかりやすい説明が要るのではないか？ ・自主財源の確保をしっかりと行うこと。 ・今回のイベントで得た力を次へつなげてほしい。(三段池カレーの商品化や淑徳の和太鼓の魅力など) ・活動実績に広報などPR活動の回数記載しては。 ・周年事業の開催単位数の検討が必要となってくるのではないのでしょうか。 ・本事業実施によりどのような成果があったのか具体的に示すことが必要。 ・交付金による支出が大きく、費用対効果を考慮した実施方法の再考が必要。 ・地元の高校生・大学生を主役とした、良い事業であると感じました。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業のため実施しない。 	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	次世代交流ワークショップ事業 (820258)			担当課	まちづくり推進課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	中田 幸夫		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)企画費	決算附属資料	74	頁	
	施策の大綱	市民協働の推進			関連計画等	-		
	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	高校生などの若者を中心とする市民が福知山市のまちづくりや未来について意見を交わす場を創出し、若者のまちづくり意識の向上や意見の抽出、郷土愛の醸成を図るとともに、にぎわいと活気ある福知山の新時代を切り拓く人材を育成する。						
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.08		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 一般社団法人 京都府北部地域・大学連携機構						
	事業概要	市内の高等学校と連携し、地域人材の派遣などによる若者の人材育成を行う「高校生フューチャーセッション」を開催し、福知山の将来を語るワークショップを行う。 また、「高校生フューチャーセッション」への参加者を含む、無作為抽出により募集、選出した高校生・大学生を中心とした市民が、グループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について深く討論する。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		講師謝礼(高校生フューチャーセッションなど)			163	
消耗品費		ワークショップに係る事務用品			57			
郵送料		無作為抽出者への案内等郵送料			231			
委託料		ワークショップ案内文封入封緘業務及び運営業務委託			1,291			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,366	2,134	1,974	1,020	
		補正予算等・・・②		△ 513	△ 98	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	1,018	1,037	1,020	
		国支出金		1,853	1,018	937		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金		872	国庫補助金	16	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.56/0	0.56/0	0.56/0	/	
概算人件費・・・④		4,480	4,480	4,480				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,333	6,516	6,454			
執行状況	執行額・・・⑥		1,853	1,742				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	85.6%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		アンケートで再度の参加を希望した人の割合	%	58/50	97/60	/70	100	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		ワークショップ参加者	人	71/100	94/100	/100	100	
		単位あたりコスト		26.1	18.5			
ワークショップ実施数	回	5/9	6/9	/				
単位あたりコスト		370.6	290.3					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	若者のまちづくり参画意識や郷土愛の醸成のために必要な取組みであるが、福知山公立大学等が主体的に実施することが理想である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	事業効果の分析業務を含んだ運営委託先については、検討の余地あり
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	市民のまちづくり参画意識や郷土愛の醸成を図る指標については、検討の余地あり
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	高校生や大学生などの若者を中心とした市民が、共通のテーマで話し合い、理解しあい、学びあうことのできる場作りと、郷土愛の醸成を起点とした市民協働の取組みを実施できた。	
	今後の課題及び方向性	適正な指標の設定による成果の見える化、事業目標と実施方法の最適化、実施主体の育成と継承などを検討する必要がある。 また、市内高校生の十分な参加と市出身の大学生の参加の促進についての具体的な方策、福知山公立大学との連携について検討が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・これまで次世代育成ワークショップについては、委託して実施してきたが、全ての運営を市が実施することにより予算縮減を図る。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	市民憲章推進事業 (710305)			担当課	まちづくり推進課		
	開始年度	平成3(1991)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田 直也		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	94	頁	
	施策の大綱	市民協働の推進			関連計画等	-		
	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する			根拠法令等			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	豊かな自然に囲まれたふるさと福知山で、市民一人ひとりが生き生きと喜びをもって暮らすことのできる住みよいまちづくりを進めるための行動指針として、平成3年4月1日に福知山市市民憲章が制定された。市民(58団体・20個人)により組織された福知山市市民憲章推進協議会を中心とした取り組みにより、市民の主体的なまちづくりへの参画を促進するとともに、市民憲章の普及と「幸せを生きる」社会の具現化を目指す。						
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 福知山市市民憲章推進協議会						
	事業概要	■福知山市市民憲章の普及、「共に幸せを生きる」社会の具現化を目指した継続的な事業を展開する。 ■平成29年度事業概要 ・未来の力祭典(市民憲章推進者・四季の写真入賞者表彰、高校生による活動発表) ・市民憲章推進月間(11月)の街頭啓発・市民憲章推進協議会設立25周年式典 ・花いっぱい運動(花時計PR・イルミネーション、キキョウ苗配布) ・笑顔の写真、ふくちやま四季の写真募集事業						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	負担金補助及び交付金	全国協議会負担金、交付金			2,015			
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	2,683	2,083	2,083	2,076		
		補正予算等…②	0	0	0			
		繰越し等…③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	2,683	2,083	2,083	2,076		
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	0			
		特定財源名称(H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.30/ 0	0.30 / 0	0.30 / 0	/		
		概算人件費…④	2,400	2,400	2,400			
総事業費(①+②+③+④)…⑤		5,083	4,483	2,083				
執行状況	執行額…⑥		2,664	2,015				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.3%	96.7%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		市民憲章推進協議会構成団体数(個人会員含む)	団体等	78 / 80	78 / 80	/ 80	80	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		部会等会議開催数	回	34 / 30	28 / 30	/ 30	30	
		単位あたりコスト		78.3	71.9			
		単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	まちづくりの理念である市民憲章の普及・啓発は重要であり、市民団体が主体となって実施する点においても適切かつ優先度の高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	市民憲章推進協議会も府の補助金や自己資金で事業を運営するなど妥当な水準である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	総会終了後、市に事業報告書を提出しており、適切に把握されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○推進委員と高校生との意見交換会を実施するなど、普及・啓発を推進することができた。 ○LINEカードや市HP、市内各施設及びイベントでのチラシの配布など多様な手法による広報により、推進大会参加者の増加を実現することができた。	
	今後の課題及び方向性	○公立大学の教員・学生と協働し、部会の活性化及び各事業の評価・改善を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>・平成30年度は、全事業の見直しを実施し、市内郵便局22箇所に協力を依頼しはなはな募金箱を設置いただき、広く市民からの募金を募る取り組みを行った。今後は協力企業を増やしていき、さらに財源確保を取り組んでいく。</p> <p>・市民憲章は、本市の市民協働における最も基本的な考え方として掲げたものであり、その理念を全市民に浸透させることは非常に重要なことであり、市の方向性として最も基本的な部分であることから、市と推進協議会との更なる連携が必要である。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域づくり人材育成事業(夜久野支所)			130250	担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	衣川 正彦			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁		
	施策の大綱	市民協働の推進			関連計画等	-			
	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域の課題解決に向け、住民が主体となって夜久野のめざす将来像を実現するため、一般財団法人地域活性化センター主催の「地方成功人材のマッチングによる土日集中セミナー」の受講。							
	対象者	夜久野みらいまちづくり協議会	対象者数	95	一人当たりコスト	10.25			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	1 事業内容：第9回「地域経済を見る眼とその手法 ～RESAS等を用いて～」 開催日：平成29年12月9日(土)～平成29年12月10日(日)【夜久野みらいまちづくり協議会 2人】 2 事業内容：第11回「やねだん東京塾 ～一歩踏み出す行動の秘訣～」 開催日：平成30年1月27日(土)～平成30年1月28日(日)【夜久野みらいまちづくり協議会 2人】							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		旅費(委員等実費弁償)		セミナー受講にかかる旅費			173		
研修等参加負担金		セミナー受講にかかる受講負担金			60				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①		0	334	0	0		
		補正予算等…②		0	0	0	0		
		繰越し等…③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		0	0	0	0	
			国支出金		0	167	0	0	
			府支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		0	167	0	0	
			特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金	117	国庫補助金	16	頁	
		ふるさと創生事業基金繰入金	116	基金繰入金	38	頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.08/0	0/0	/		
		概算人件費…④		0	640	0			
総事業費(①+②+③+④)…⑤			0	974	0				
執行状況	執行額…⑥			0	233				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			0.0%	69.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		受講報告	人	/	4 / 4	/	4		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		受講者数	人	/	4 / 4	/	4		
		単位あたりコスト		0.0	58.3				
				/	/	/			
単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の価値創造・課題解決のためのヒントを伝授することを目的としたセミナーであり、地域づくりに熱意のある人の意識改革や能力向上に必要なセミナーである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	受講にかかる旅費・参加負担金で必要最小限の経費である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	地域の課題解決や地域活性化をめざした活動を積極的に取り組んでいる「夜久野みらいまちづくり協議会」の会員に受講していただくことは有効なことである。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般社団法人地域活性化センターが主催する地方成功人材のマッチングによる「土日集中セミナー」へ「夜久野みらいまちづくり協議会」の会員4名に受講いただき計画どおり実施できた。 また、平成30年2月22日に開催された「人材育成に関する連携協定締結記念事業」地域づくり人材の育成強化及び地域活性化の推進に向けた研究成果発表会資料として土日集中セミナー参加報告書を配布し、広く報告ができた。		
	今後の課題及び方向性	一般社団法人地域活性化センターと福知山市が、人材育成に関する連携協定を締結したことにより、さらにも多くの方々（市民・市職員）が研修に参加して人材を育成し、地域づくりを進める必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・対象者は、まちづくり協議会部会員夜久野の住民の数(参加した4名は、まちづくり協議会の代表≡地域の代表) → 研究の報告が地域に生かされることが成果であり、それを踏まえることが重要 ・研究会に参加して、全国からの参加者とどれだけの関係性が得られたかも重要なポイント ・この取組みを上手くいかして今後の展開につなげていってもらえればよい ・H29で学んできたものがどのように生かされるか、今後慎重に評価していただきたい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○平成30年度から予算計上をしていないが、市から開催日・内容等の情報提供を行い「夜久野みらいまちづくり協議会」が地域づくり組織支援事業交付金を活用していただき、積極的に参加し、今後の展開に繋げていただく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	